

(4) 溺水（おぼれた）

水の事故は重症になる可能性の高い事故です。0歳から4歳までは家のお風呂場での事故が多く起きています。5歳をすぎると、海や川など屋外での事故が多くなります。

浴槽には水を貯めておかないようにするか、子供が入れないようにカギをかけること。また、入浴中は目を離さないようにしましょう。屋外では周囲の大人が目を離さないことが大切です。

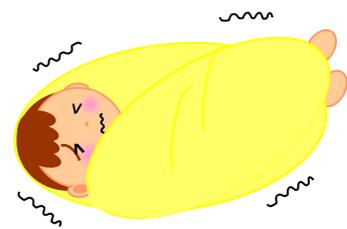
まさかの時のために心肺蘇生法（人工呼吸や心臓マッサージなど）を習得しておくことも重要です。

医療機関救急受診のポイント

（救急外来を受診しましょう）

- ▶ 名前を呼んでも反応がない（意識がない）
- ▶ 息（呼吸）をしていない
- ▶ 顔色が悪い
- ▶ 元気がない

※ 医療機関を受診するときは、子供を毛布などでくるみ温かくする



家庭での対処方法のポイント（Q & A）

Q 1 子供が溺れた。どうすればいいのでしょうか？

- ① すぐに水から引き上げる
- ② 多少水を吐いても、大声で泣き反応があるようならひとまず安心
- ③ 温かくしてから病院へ
- ④ 名前を呼んでも反応がない。息をしていない時はすぐに心肺蘇生法を行い、救急車を呼ぶ

